

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		030301 職員採用事務		担当部課	部課コード	030300	2998-9048	
事業コード		030301		職員課				
開始年度		年度		終了年度	年度			
開始年度		年度		終了年度	年度			
事業の種類		自治事務		法定受託事務	法定受託 + 附加			
分野別計画・指針				根拠法令				
関連・類似事業		なし		地方公務員法第17条、所沢市職員任用規則				
総合計画の体系		章 行政財運営		節 行政運営	基本方針	組織体制の整備・充実		
事業開始の背景		組織維持に必要な定員を確保する為に実施している。						
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 行政組織に必要な定員を確保するとともに、所沢市が"選ばれた自治体"でありつづけるよう、市民・団体・事業者と協働してまちづくり推進するために、人と人をつなぐ力、人とまちをつなぐ力を持った人材を確保する。								
対象(誰を、何を対象としているのか) 採用希望者(採用試験受験申込者)								
				対象数	単位	平成 26 年度	646 人	
						平成 27 年度	753 人	
事業の具体的な内容及び実施方法 1. 職員採用情報を広報紙・インターネットホームページ等に掲載し、所沢市主催の採用説明会を実施したり、広域連合主催の市町村合同の採用説明会に参加し、受験者を積極的に募る。 2. 第1次試験(筆記)を行い、合格者を決定する。 3. 第1次試験の合格者に対し、第2次試験(性格適性検査、集団討論等)、第3次試験(面接)を行い、最終合格者を決定する。 4. 最終合格者を採用候補者名簿に載せる。 5. 採用候補者名簿の順位の上位の者から順に採用決定を行う。								
経費		会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
		予算現額		2,999	2,999	4,120		
		決算(見込み含む)		2,042	2,115			
		(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)		
		正規職員人件費		1.89 人 16,483	1.67 人 14,462			
		事業費合計		18,525	16,577			
		財源内訳	一般財源	18,525	16,577	4,120		
			国・県支出金	0				
			その他()	0				
実績		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
		採用希望者	採用試験受験申込者数	人	646	753	785	850
		採用試験受験者	採用試験受験者数	人	527	592	544	700
		採用者	採用者数	人	57	96	68	50
成果		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
		採用試験受験者	採用試験受験者数	人	目標値 700	700	600	700
					実績 527	592	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
		目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率 75	85	どちらかをチェックしてください	
改善点		(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析			
		技術職の受験者数増加を目的とした、技術職の業務に特化したパンフレットを作成。大学や各種学校への配布や説明会での配布、市ホームページへの掲載等を通じて、技術職の魅力を受験生に伝え、受験者数の増加を図った。			受験者数は、経済情勢や募集人数に大きく左右され、未達成の原因はこれに拠るところが大きいと思われる。目標達成率は26年度比で改善されているが、引き続き受験者増加、特に技術職の受験者数増加に向けた取組みを計画・実施していく必要がある。			
評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	今後も、より資質や能力の高い職員を採用する為に、受験者数や受験者層の拡大を図る必要がある。その為に、採用試験の実施方法やPR方法について、より充実したものにす為。		
		次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	受験者数や受験者層の拡大を図る為には、引き続き同程度の予算を必要とする為。			
評価日		(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性			
H28.8.16		受験者数が減少する状況で、幅広く優秀な人材を確保する為、年2回(6月、9月)の採用試験を実施。6月実施第1回目の事務職採用試験は、当初民間企業を志していた人も受験しやすいよう、教養試験を廃止し、代わりにエントリーシート、SPI試験を実施。9月は例年通りの採用試験を実施する。受験申込み手続きを電子申請とすることで業務の効率化、紙資源の節約を実施。			今年度初めて採用試験を2回実施とした為、その中で出た成果や問題点を洗い出し、実施方法の見直しや、受験者の一層の拡大に努める。また、技術職確保に向けて、技術職の業務内容やその魅力を伝える広報活動を積極的に実施し、募集人数増加に努める。受験申込みの電子申請については、事務効率や紙資源節約の点での効果がある為、引き続き実施していく。			
評価者		H28.8.16			職員課長 市川 博章			
環境影響		有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動		試験問題・通知の紙の使用	
							規制を受ける環境法令等 無	
							緊急事態 無	